



いぶき 第85号
 発行者 吉野 公博
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<https://www.kagawah.johas.go.jp>

生活でお困りのことはありませんか？

形成外科副部長 三浦 佑樹



形成外科という診療科を聞きなれない方や聞いたことあるけどどんな診療をしているのかよくわからないという方は多いのではないかと思います。当科は、特定の臓器の病気を治す科ではなく、全身のあらゆる部位の異常や形態変化を治療する科で、主に、外傷や手術、加齢によって失われた機能を回復させる事と生活の質(QOL: quality of life)の向上を専門とする外科です。

当科が対象とする疾患は、多岐にわたっており、ここではすべてをお話しするのは中々難しいので、代表的なものをお話できればと思います。

まず、日常生活で困ることという、加齢などが原因

因で目を開ける力が弱まり開けにくくなる眼瞼下垂というものがあります。見えにくいということだけでなく、眼を頑張つてあげようとすることで頭痛や肩こりが起きてくる方もいます。多くの場合は、上まぶたの皮膚が余っていたり、眼を挙げる筋が緩んでいることが原因ですので、当科では、手術として余った皮膚を切除して筋を締めなおす手術を行っています。眼の話でいうと、まつ毛が眼球にあたって痛くなる睫毛内反という病気もありますが、この病気に対しては、瞼に切開を加えてまつ毛が外側に向くように縫い付けるような手術を行っています。

また、当科はきずの専門家ですので一般的なけがをしたときの治療に加えて、中々治らないきず(難治性潰瘍)や、けがや手術の後のきずあとやひきつれ痕痕拘縮、ケロイド)に対して治療を行っています。主な治療法としてはステロイドの外用ですが、きずの状態によって

は手術や電子線治療なども行っています。

皮膚や皮下のできものも治療対象で、垢がたまつたできもの(粉瘤)やほくろなどの良性腫瘍から脂肪腫などの良性の軟部腫瘍、皮膚癌などの悪性腫瘍の切除まで幅広く行っています。単純な切除を行う方法から周囲の皮膚をやりくりする方法(局所皮弁術)や場合によっては別の場所から皮膚を移植する方法(植皮術)を用いて手術しています。

悪性腫瘍でいうと、当科では頭頸部癌や乳癌、直腸癌など切除後に大きな組織の欠損ができた場合に皮膚や皮下脂肪・筋肉などを一塊にした組織を用いた移植術(有茎皮弁・遊離皮弁術)を行って欠損を埋める治療も行っています。

また癌を切除した後、腫瘍切除にもなつてリンパ節の郭清が行われた場合、手足が腫れてくる(リンパ浮腫)ことがあります。当科では、リンパ浮腫の検査(リンパ管蛍光造影法)から圧迫療法、手術療法(リンパ管静脈吻合術)に加え、リンパドレナージや弾性着衣の指導などを行うリンパ浮腫ケア外



形成外科・皮膚科受付

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
安全で安心のよりよい
医療と看護を提供します

来も行っています。

その他ここではお話ししていない様々な疾患に対して当科では治療を行っています。治療対象にならないものや保険適応外の治療は当院ではできませんが、保険診療でできる範囲内でのようなアプローチが最善であるかを一緒に考えますのでご相談いただければと思います。

連載 3

丸亀城と城下町 海岸地形の変化と海辺の利用

香川大学名誉教授 田中健一

前号に掲げた【図1】・【図2】を比べると分かるように、金倉川の河口は、丸亀城が廃止されていた間に、城下町の東部から現状どおりの今津・下金倉間へ移されています。

【図1】の丸亀市立資料館所蔵の「讃岐国絵図」は金刀比羅宮所蔵の寛永一〇年(二六三三)の記事を持つものとよく似ており同系統の絵図と判断されます。

【図2】の高松市歴史資料

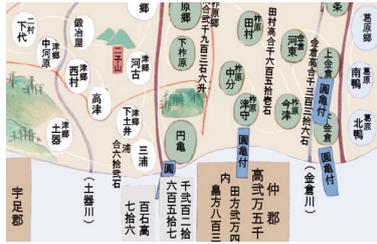


図1



図2

館所蔵の「讃岐国絵図」には、東かがわ市の引田城と高松城が現役の城として記され、丸亀城のみが「古城」とされています。これは慶長二〇年(一六一五)の一国一城令以前の状況です。寛永一〇年、江戸幕府は西日本大名たちに国絵図を提出させています。生駒家は、慶長年間に製作されていた讃岐国絵図を提出したのでしよう。

また、前号に掲げた【図3】には、旧河口をはさむ二か所の岬状の土地が描かれ、【図4】では丸亀城に近い方に城下町が描かれています。この岬状の地形は沿海部に砂が堆積して形成されるもので砂堆とよばれます。とくに鳥のくちばし状になったものを砂嘴(さし)とよびます。香川県の沿海部には冬の強い北西季節風による波浪で運ばれた漂砂によって形成された砂堆があちこちに見られます。

【図5】は、土地の自然条件(成り立ち)を示した二万五千分一土地条件図の丸亀から丸亀城下町周辺部を掲げたものです。分かりやすくするために砂堆を黒く塗りつぶし、現在の地名・河川名を記入しています。本図に見るように、丸亀城の西部地域は金倉川とそ

田中健二氏プロフィール



田中健二さんは、香川大学名誉教授で、専門は日本中近世史です。多年にわたって香川県文化財保護審議会の委員を務められ、教育文化功労者として令和元年に県知事表彰をうけていらっしゃいます。



図3

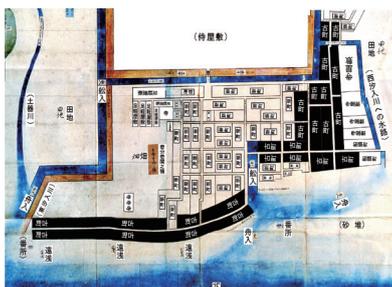


図4

西汐入川の流れを追ってみます。今津と中津の間を北へ流れていた西汐入川は、砂堆に流れをささげられて東へ向きを変え、砂堆の途切れたところを通って北東へ流れ、再び砂堆に沿って東へ流れて、二つの砂堆の間から海へ流れ出ています。西汐入川と、土器川の西を流れる東汐入川との間の

弓のように反った砂堆が、丸亀城築城に際し周辺地域から漁夫を移住させたという御供所・北平山・西平山の三浦です。

もうお気づきかと思いますが、この西汐入川が付け替え以前の金倉川です。それでは、金倉川の付け替えはなにを目的として行われたのでしょうか。

丸亀城の廃止後も、旧城下町は三浦を中心に港町として存続していました。洪水時の港への土砂の流入を防ぐため、金倉川本流の河口を遠方へ移したのでしよう。

金倉川の上流では、寛永八年に生駒家の重臣西島八兵衛により満濃池の再築が行われていました。丸亀城が廃止されていた間、金倉川水系の上流域においては、ため池が築造され、下流域においては、本流を付け替え、支流を一本化する治水事業が行われていたのです。

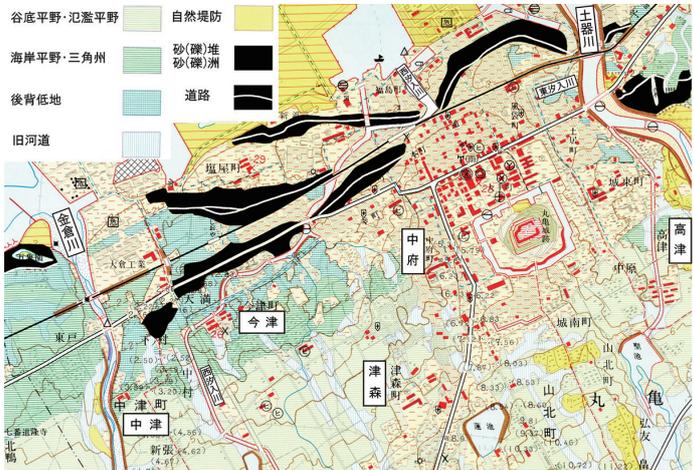


図5

今回は、丸亀城下町のうち古町を中心にその名残りを探ります。

自分でできる骨盤底筋体操

皮膚・排泄ケア認定看護師 松永 希

尿漏れのタイプは、大きく4つに分けられ、そのひとつに咳、くしゃみ、スポーツなどをしてお腹に力が入ったときに生じる尿漏れを腹圧性尿失禁といいます。とくに女性は、妊娠や出産、加齢により、骨盤底筋の力が弱くなりがちです。骨盤底筋トレーニングをすることで、頻尿や尿漏れの改善・予防に有効とされています。個人差はありますが、効果がでるには1〜6カ月かかりますので、根気よく続けることが大切です。

深呼吸して体の力を抜く。肛門のまわりの筋肉を締めるように 5秒キープしてみましょう



10回を1セットとして3セットからしてみましょう
10回 繰り返す

入院患者さま向け Wi-Fi環境設置について

会計課長 藤原 貴弘

入院患者さま向け Wi-Fi環境設置について

当院では、患者サービス向上の一環として、入院生活をより快適に過ごしていただくため、各病棟の個室及び特別室のみWi-Fi環境(無線LANでインターネット等に接続できる環境)を整備しております。

各病棟の個室及び特別室において、無料でご利用いただけます。

ただし、ご利用する際の注意事項について、当院ホームページに掲載しておりますので、ご確認の上、ご利用ください。

当院では、患者サービス向上の一環として、入院生活をより快適に過ごしていただくため、各病棟の個室及び特別室のみWi-Fi環境(無線LANでインターネット等に接続できる環境)を整備しております。

各病棟の個室及び特別室において、無料でご利用いただけます。

ただし、ご利用する際の注意事項について、当院ホームページに掲載しておりますので、ご確認の上、ご利用ください。

利用ください。

なお、ご利用希望の方は、当院1階入院窓口までお問い合わせください。



四季の植物 五色トウガラシ (ゴシキトウガラシ) ナス科・トウガラシ属

西4病棟看護師・高橋希巳江

原産地は南米、観賞用で食べられません。夏から秋にかけて花が咲いた後、実がなります。実は緑から白・紫・黄などに変化、熟すと赤色になります。9月21日の誕生花、花言葉は「悪夢が覚めた・生命力・旧友」等です。

部署紹介「中央放射線部」

中央放射線部長 中川 誠

中央放射線部は診療のために、放射線(X線や放射性同位元素など)を用いた検査、磁気や電波を利用したMRI検査、高エネルギー放射線を利用した放射線治療などを行う部門です。

資格の取得をしています。今年度はMRI、血管撮影装置を更新し、新棟建設とともに放射線治療装置を更新する予定です。中央放射線部は地域が求める医療の実現を目指しています。

医療において放射線が有効にかつ安全に利用されるよう放射線管理業務も行っています。

わが部門ではX線検査(乳房撮影なども含む)、血管造影検査、透視(TV)検査、CT検査、MRI検査、核医学検査、放射線治療、骨密度検査を行っています。

多様化する医療に対応するため我々技師は各種認定技師や専門技師の



導入予定の放射線治療装置



新任医師紹介



循環器内科医師 澤田 覚

初めまして。6月から香川労災病院循環器内科医師として赴任した澤田覚と申します。今までは岡山の津山市で勤務をしていました。

香川県には今まで行ったことがなかったのが香川の方の人柄や歴史、景色に触れ合えることを非常に楽しみにしています。時間が許せば丸亀の市中散策などしてみたいのでおすすめの場所などあれば教えて頂けますと幸いです。今後よろしくお願ひします。



研修医 宮本 真志

宮本真志(まさし)と申します。7月から初期研修修

了までの9ヵ月間、外科でお世話になります。出身地は広島県三原市で、山梨大学を卒業しました。将来的には消化器一般外科・呼吸器外科を志望しております、豊富な手術症例のある当院外科での研修を希望させていただきました。これ

といった特筆することのない人間ですが、理論的な事から技術的な事まで丁寧に積み重ねていきたいと思ひます。一例でも多くの経験を

を得ながら漸進できる様に努めて参ります。



研修医 作山 浩希

6月から香川労災病院で研修をさせていただくことになりました研修医2年目の作山浩希と申します。出身は大阪で大学から香川に来ております。今までは大

学のある三木町や高松市を中心とした生活で、丸亀で暮らすのは初めてですのでこれから色々丸亀の魅力

編集だより

患者サービス向上委員 米原 由貴

を探していきたいと思ひます。8月までという短い期間ですが少しでも皆さまの力になれるように精一杯精進してまいりたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

コロナ禍でマスクをすることが日常となっている中、今年も本格的な夏がやってきました。まだまだ暑い日が続きますが、感染対策を行うとともに、こまめに水分補給をして熱中症や夏バテに十分気を付けて過ごしましょう。

広報誌「いぶき」では、地域の皆様に親しんでいただけるよう編集委員一同懸命に取り組んでおります。ご意見、ご要望があれば、ぜひお寄せください。多数お待ちしております。

